



東日本大震災で亡くなられた方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまには、心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

京田辺市議会

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)への義援金募金活動を行う市議(3月22日)



非核平和都市宣言条例を制定

水道基本料金の値下げ案を可決

平成23年第1回定例会は、2月21日に開会し、30日間の会期で3月22日に閉会しました。初日には、市長から、京田辺市非核平和都市宣言条例案他1案が即決議案として提出され、ともに可決しました。また、閉会中の継続審査となっていた、都市計画税の税率引き下げを求める請願については否決しました。さらに、その他条例案や23年度当初予算案など28件が提案され、常任委員会や予算特別委員会に付託し、審査することになりました。一般質問では13人の議員が登壇し、市政運営についていただきました。最終日には、市長提出案件の条例・予算案を全て可決しました。また、議会改革・活性化特別委員会は、委員長報告のあと、今議会をもって閉じました。

2 即決議案を可決

定例会初日には、市長から、即決議案として、核兵器の廃絶と世界平和の実現に向けて、本市が非核平和都市として進むことを宣言し、制定することとした「非核平和都市宣言条例の制定」と、議員の退職月の報酬について、日割り計算として支給するという「議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正」の2条例案が提出され、原案のとおり可決しました。

23年度予算等16議案を付託

総額212億5000万円となる平成23年度一般会計予算は、改選を控え格別予算となり、継続事業が中心となりましたが、緊急性の高い事業が計上され、また、厳しい財政状況のもと、経常経費の削減を目指した予算案となりました。主な内容として、大腸がん節制検診事業に911万円、住宅用太陽光発電システム設置助成事業に700万円、新たに田辺東、桃園小学校を加えた4校で学校給食調理業務民間委託を行うために5824万円、基幹電算システム改修事業に1億9552万円など、また、7特別会計及び水道事業会計の当初予算案9件、そして4億2750万円を減額する22年度一般会計補正予算(第3号)など7件の補正予算案が提案され、10人の委員で構成する指定管理者制度の導入により、開館時間の一部延長を行うための「社会福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正」や、水道料金の基本料金を引き下げるための「水道事業給水条例の一部改正」など条例案10件と、「道路線の認定」など2件のその他案が提案され、それぞれ所管の常任委員会に付託し、審査を行うこととなりました。(2面に掲載)

13 一般質問が

2日目から4日目には、13人の議員が登壇し、一般質問を行いました。(4～7面に掲載)

付託議案すべて可決

最終日には、常任委員会に付託していた議案の審査結果に対し、各委員長から報告を受けました。討論では「職員の給与に関する条例の一部改正」に対し、日本共産党京田辺市議会議員団、無所属ネット、民主党議員団から賛成討論がありましたが、賛成討論がなかった。また、「公共下水道使用料徴収条例の一部改正」及び「水道事業給水条例の一部改正」に対し、日本共産党京田辺市議会議員団から賛成討論がありました。採決の結果、すべて原案のとおり可決しました。

議会改革・活性化特別委が終了

次に、議会改革・活性化特別委員会の審査報告を行いました。これには、委員会の経過や審査内容、市の対応等の報告があり、この報告をもって本特別委員会は、活動を終了することとし、閉じました。(7面に掲載)

会派が解散

3月31日に無所属ネットが解散し、会派から選任されていた議会運営委員と広報編集特別委員が辞任しました。

12 条例等議案を付託

次に、年末・年始の業務従事職員の特別手当を廃止する「職員の給与に関する条例の一部改正」、

紙面のご案内

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 2面 | 常任委員会の審査報告 |
| 3面 | 予算特別委員会審査報告 |
| 4面 | 一般質問、議会日誌 |
| 5面 | 一般質問 |
| 6面 | 一般質問 |
| 7面 | 一般質問、議会改革・活性化特別委員会の最終報告、議員研修会、用語の解説 |
| 8面 | シーズンスケッチ、傍聴アカート、議決結果、あとがき など |